

# 日本台湾学会報

## 第10号

### 目 次

#### 論 説

- 「愛郷心」と「愛国心」の交錯  
——1930年代前半台湾における郷土教育運動をめぐって 許 佩 賢 (1)
- 1950年代初期台湾の中国化  
——「改造」と「中央化」の影響を中心に 菅野 敦志 (17)
- 1950年代台湾における「失学民衆」への「国語」補習教育  
——元「日本人」の「中国化」の挫折 森田 健嗣 (39)
- アメリカの許容下での「大陸反攻」の追求  
——国府の雲南省反攻拠点化計画の構想と挫折 石川 誠人 (55)
- ローバー号事件の解決過程について 羽根 次郎 (75)
- 李登輝総統の大陸政策決定過程——「戒急用忍」を事例として 黄 偉 修 (97)
- 懸賞当選作としての「パパイヤのある街」  
——『改造』懸賞創作と植民地〈文壇〉 和泉 司 (119)
- 王白淵の東京留学について 唐 顯 芸 (141)
- 翁鬧を読み直す——「鱸爺さん」の語りの実験をめぐって 黄 毓 婷 (159)

#### 講 演

- 現代台湾における族群概念の含意と起源 王 甫 昌 (176)  
(翻訳 田上智宜)

2008年5月

日 本 台 湾 学 会